

2020 宮崎初かつおフェアの総括



2010年にスタートした宮崎初かつおフェアは、今年度で11回目のイベントとなりました。

行政、漁業関係団体、魚市場関係者、大手量販店、ホテル旅館関係者、消費者代表が連携を取り、全国に先駆けて、本県で水揚げされる「初かつお」を県内外の消費者へ広くPRする取り組みです。

「2020宮崎初かつおフェア」は、令和2年2月27日～5月12日をフェア期間と定めて実施されました。今年度のフェア参加店は、鮮魚販売店（216店舗） 料理飲食店（71店舗）と例年並で、イベントが定着していることが分かります。

フェア開始時は、鮮魚販売店、料理飲食店共に好調な滑り出しでしたが、その後、新型コロナウイルス感染拡大にともない、状況は一変しました。

初かつおは、ブリ類やマダイ類など大きな影響を受ける魚種があるなか、鮮魚販売店では善戦し、その影響は、他の魚ほどではなかったと伺っています。

しかし、料理飲食店では、休業を余儀なくされる等、当然のことながら大変な状況でした。

「2020宮崎初かつおフェア」の主な取り組み

○プレイベント：初かつおフェアのプレイベントとして、ソフトバンクとオリックスバファローズの春季キャンプなどでPR活動を行いました。



2月8日 ソフトバンクホークスキャンプ



2月15日オリックスバファローズキャンプ

○「2020宮崎初かつおフェア」 令和2年2月27日～5月12日

宮崎県知事等に「2020宮崎初かつおフェア」の開催を報告した後に、2月27日、宮崎市中心卸売市場内で、開会式並びに豊漁祈願祭を実施して、76日間のイベントをスタートしました。



開会式並びに豊漁祈願祭

総 括

今回、多くの魚が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける中、「初かつおフェアプレゼント企画」への応募ハガキ数は、996通と例年の1500～1800通に比べると減ってはおりますが、料理飲食店が大きな影響を受けている中では健闘したと考えています。

先にも述べましたが、多くの魚種が新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受ける中、「初かつお」の消費がそれほど影響を受けなかったのは、11年にわたる宮崎初かつおフェアの実施により、「この時期は初かつおを食べる」という食文化が宮崎に定着した効果と評価します。